

## 令和5年度（保健体育課）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上（法令の遵守（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服従規則の徹底）	職員の法令遵守意識を高め公務員としての自覚を持った行動を徹底する。	職場研修（書面）を実施し、不祥事防止に向けた法令順守意識の向上を図った。その結果、所属全体に意識の向上が見られた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	パワハラ、セクハラをはじめとする職場のハラスメントの問題について、理解を深め、未然に防止する。	ハラスメントの根絶に向けた取組について、職場研修（書面）を実施し、職場のハラスメントの防止に向けた意識の向上を図った。その結果、所属全体に意識の向上が見られた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の重要情報の適正な管理に努め、紛失や漏えい等を未然に防止する。	最近の不祥事の事例について、職場研修（書面）を実施し、個人情報等の管理等について意識の向上を図った。その結果、所属全体に意識の向上が見られた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通放棄の遵守	交通事故、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	日頃より、朝の打ち合わせ等で注意喚起を行った。年末には、所属長から改めて注意喚起を行った。その結果、交通事故等はなかった。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	チェック体制がより機能する業務執行体制を整え、業務上のミスを未然に防止する。	朝夕ミーティング時の情報共有により、業務のスケジュール管理等の徹底を図った。業務協力体制はあるものの、業務の繁忙期が重なるなど、業務の平準化を図ることができなかった。
財務事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続を徹底する。	職員相互のチェックによる予算の適時、適切な執行を徹底した。また、随時執行担当等から注意喚起を行った。その結果、所属全体に意識の向上が見られ、会計事務を概ね適正に執行することができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(所属長意見)

職場研修や毎日の朝夕のミーティング時における注意喚起等により、プログラムの各課題について、概ね目標を達成することができた。

令和6年度も、職場研修を実施するとともに、毎日の朝ミーティング等を活用し、不祥事防止につながる情報を共有する。

なお、業務の平準化については、所属でコントロールができない部分もあるが、可能な範囲で業務執行体制の確保や平準化を図る。